

2025年度 卒業後アンケート（卒業生対象）調査の集計結果について

1. 調査目的

卒業後の就業実態を把握するとともに、社会人経験を通して在学中の教育プログラムが就業に活かされているか、在学中に更に何を学びたかったか、等を調査し、本学の教育の充実と改善に役立てるためにアンケート調査を実施。

2. 対 象

2024年3月卒業生（社会人2年目）

3. 調査方法

Web アンケート

4. 調査時期

2025年9月1日～10月31日

5. 調査内容

- (1) 勤務先の状況
- (2) 仕事や職場の良い点、満足している点
- (3) 仕事の楽しさ、やりがい
- (4) 困っていること、悩んでいること
- (5) 職場でのコミュニケーションについて
- (6) 手当、休暇、残業等について
- (7) 将来のキャリア展望
- (8) 本学での教育プログラムが活かされているか
- (9) 本学で更に学びたかったこと、経験したかったこと 等

6. 調査結果

対象者：110名

回答者：23名

回答率：20.9%

結果概要：

- ①現在の職場での「満足・やや満足」は88%、良い点・満足点の上位には「同僚との関係」「上司・先輩との関係」が挙がっており、職場で良好な人間関係を築き、順調に勤務していることがうかがわれる。

- ②本学卒業生は保育従事者が大半であるが、81%が「楽しさ・やりがい」を感じており、こどもとの関わりの中でやりがいを実感している人が多くなっている。
- ③給与や休日、残業については概ね満足している様子がうかがえる。また今の職場で働き続けたいという希望を持っている人は75%となっている。
- ④本学での教育プログラムや経験に対する満足度・職場での寄与度について、「満足・やや満足」の回答が96%、「活かされている・やや活かされている」の回答が87%となっており高い結果となっている。
- ⑤本学への要望として、それぞれの職場で求められる知識や具体的な実践力に関する課題（乳児保育や障がいについて、保育室の環境設定など）を大学での学びとして具体的に求めていることがうかがわれ、本学の今後の充実・改善に参考になる回答が得られた。

以上